



北杜市埋蔵文化財センターが参加している「縄文王国山梨」は、縄文時代について展示している県内8館のミュージアム（県立考古博物館、県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、韮崎市民俗資料館、富士吉田市歴史民俗博物館、南アルプス市ふるさと文化伝承館、谷戸城ふるさと歴史館、北杜市埋蔵文化財センター）で構成されています。例年、スタンプラリーや巡回イベントを行なってきましたが、今年度は初の試み、バスツアーを実施しました。一日で縄文王国山梨の3館を巡れる、とてもお得なバスツアーです。第3回（最終回）の1月31日（日）には、北杜市埋蔵文化財センターにもバスがやってきました！今回のかわら版では、その一日をレポートします。

(内海)

## コース：

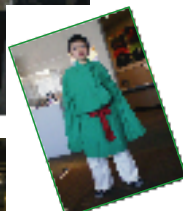
県立考古博物館 → 南アルプス市ふるさと文化伝承館 → 北杜市埋蔵文化財センター



### ① 山梨県立考古博物館

集合場所であった県立考古博物館の見学からスタートです。山梨県内の旧石器時代から明治時代までの歴史について、学芸員が展示を案内しました。バスツアーの参加者は、考古学に興味を持たれている方ばかりなので、皆さん熱心に聞き入っていました。

今回のバスツアーでは、見学だけでなく、各館で体験プログラムを用意しています。考古博では、「古代の衣装を着てみよう」ということで、古墳時代の女官や役人の衣装などを着ていただきました。記念撮影をする頃には、気分はすっかり古代人!?



考古博物館

### ② 南アルプス市ふるさと文化伝承館

鋳物師屋遺跡などを車内から見学しながら、伝承館に到着しました。伝承館に展示されている鋳物師屋遺跡出土の土偶（重要文化財）は、12月15日から2月21日まで東京国立博物館に出張中です。（写真はレプリカ。東京の前は、イギリスの大英博物館に出張していました）

伝承館では、お弁当タイムにも縄文を体験。縄文土器で作った「縄文鍋」（ハマグリ入り！海産物であるハマグリと、縄文土器の貝殻が、釈迦堂遺跡で出土しています）と、「縄文クッキー」のおふるまい。どちらも美味しかった！



ふるさと文化伝承館



### ③ 北杜市埋蔵文化財センター

最初に、ギタリストの矢島たかしさんとユニット「アマウツシ」の皆さんによる、「古代の音色コンサート」をロビーで聴きました。ギター旋律と、縄文らしい太鼓や様々なパーカッションの音色、伸びやかな歌声、幻想的な踊り…全てが相まって、縄文の祭祀を思い描けるような公演でした。

コンサートの後は、埋蔵文化財センターの見学。八ヶ岳南麓の縄文時代について解説を聞きました。埋蔵文化財センターでは、人面や動物・植物がついた土器、土偶のテーマ展示もしています。

埋蔵文化財センター



バスの車内でも学芸員の解説があり、内容もりだくさんのバスツアーでした。初めて来館された方には、新しい発見や、他の博物館や遺跡も見学してみたい、という興味を持っていただけたかもしれませんし、以前に来館したことがある方にも、普通の見学では味わえない体験を楽しんでいただけたかもしれません。もし、そうであれば嬉しい限りです。

